

# 縄文火焰型土器について

「国宝縄文火焰型土器で奥深い日本文化発信推進の会」事務局編集

## 1.写真抜粋

<https://www.google.co.jp/search?q=%E5%9B%BD%E5%AE%9D%E7%81%AB%E7%84%94%E5%9C%9F%E5%99%A8&biw=1280&bih=623&tbm=isch&tbo=u&source=univ&sa=X&ved=0ahUKEwjXod3OwbrKAhVHVZQKHbj4ADEQsAQIJw#imgrc=X9fBBmFKW2il8M%3A>

Google 検索広報火焰土器より抜粋

（十日町博物館所蔵）  
国宝指定番号 1 火焰型土器右



その他国宝指定縄文火焰型土器 Display 事例（左と下）



## 2 縄文火焰型土器概略

十日町市博物館HPより抜粋 (<http://www.tokamachi-museum.jp/information01.html>)

「新潟県笹山遺跡出土深鉢形土器」とは、有名な火焰型（かえんがた）土器を含む 928 点の出土品で構成されている国宝の正式名称です。ここでは火焰型土器に焦点を当てて解説します。火焰型土器は、立体的な装飾に富み、優れた原始造形美を有する土器です。その独特な形や文様は、近隣各地の土器様式の影響のもと、今から約 5300 年前に信濃川中流域で成立し、同地域において約 500 年間にわたり継続、発展したと推定されています。分布の中心が列島有数の豪雪地帯であるこの地域にあることは、当時の社会領域を知る上でとても示唆的です。 火焰型土器はオコゲが付着することがあるため、煮炊きに使われたことは確実です。しかしそうでない個体もあるため、祭りなどの非日常的な用途に供されることもあったのではないかと考えられています。 **国宝指定番号 1 の火焰型土器は**、そのプロポーションと残存率の高さから『縄文土器の白眉』と称されています。



高さ 46.5cm

最大径 43.8cm



高さ 35.6cm

最大径 34.2cm



高さ 43.7cm

最大径 40.4cm



高さ 26.2cm

最大径 27.4cm



高さ 21.2cm

最大径 23.1cm